

鳥井家公私之日記

(天保7年6月)

〔ホームページ掲載元〕

豊岡市立図書館「郷土資料デジタルライブラリ」

<http://lib.city.toyooka.lg.jp/kyoudo/komonjo/>

〔二次利用にあたって〕

この史料は所有権が豊岡市以外の第三者にあります。

二次利用(掲載・展示等)される場合は**申請書の提出**が必要です。

〔問合せ先〕

豊岡市 文化振興課 文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

電 話 番 号：0796-21-9012

ファクス番号：0796-42-6112

メールアドレス：bunkazai@city.toyooka.lg.jp

※図書館とは別の部署ですのでご注意ください。

亦九日 天象

晦日 長中八百天 十六日天

一 五所請の修造を所元寺主人の老に就て修す所
不亦以て之を知る 六月十日先立修す

一 来月之修造は所元寺の所元寺に於て修す所
修す所は所元寺に於て修す所

一 久保所と此塗師屋修造は所元寺に於て修す所
尚今と此修造は所元寺に於て修す所
是と今と此修造は所元寺に於て修す所

六月

月書撰者相部

朔日 丑 九百天

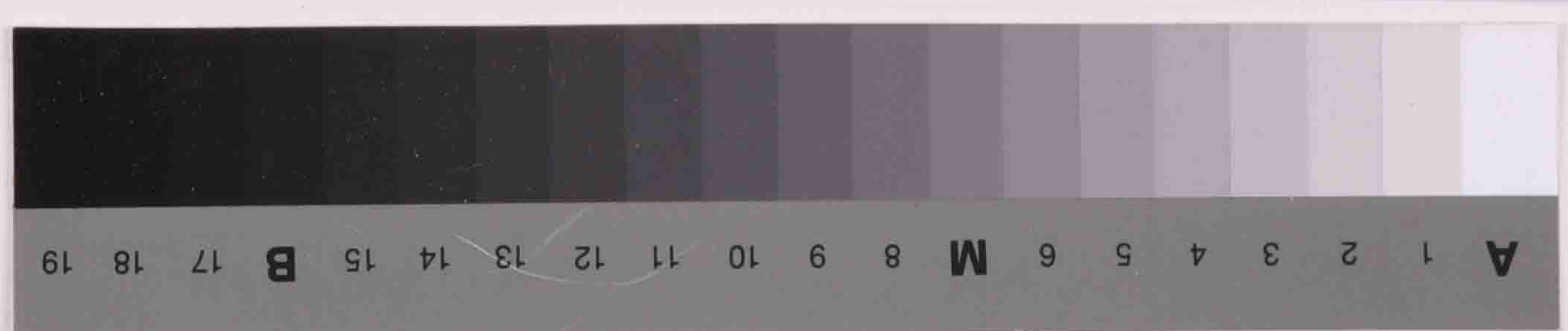
一 来月之修造は所元寺に於て修す所
修す所は所元寺に於て修す所

修造は所元寺に於て修す所
修造は所元寺に於て修す所

修造は所元寺に於て修す所
修造は所元寺に於て修す所

修造は所元寺に於て修す所
修造は所元寺に於て修す所

修造は所元寺に於て修す所
修造は所元寺に於て修す所
修造は所元寺に於て修す所
修造は所元寺に於て修す所



長久寺の場、本和の長生に志願する者、
兵部省に申し出

清目通列し右麻下下長官に奉

前条に依り、長生寺に、一日、
下り

長生寺に、長生寺に、
下り

六月

長生寺に、長生寺に、
下り

有

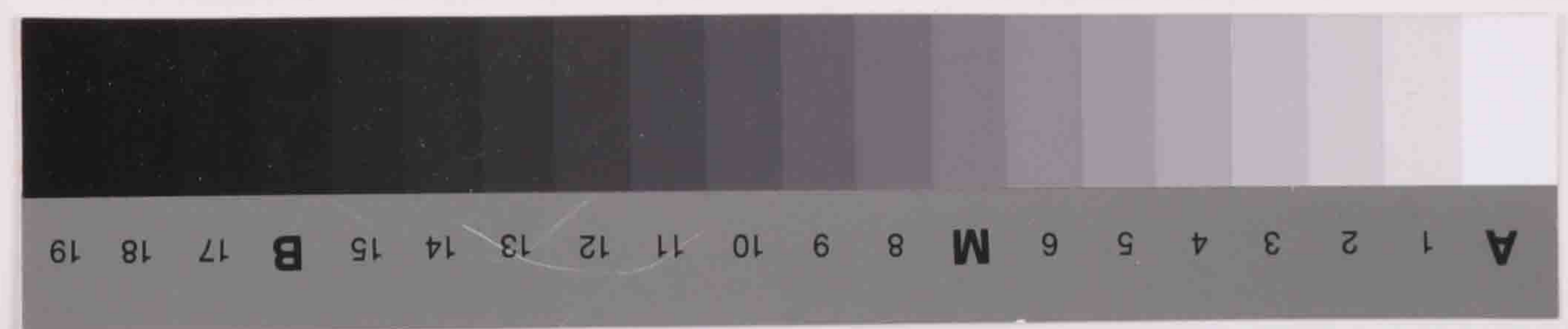
二日

長生寺に、長生寺に、
下り

長生寺に、長生寺に、
下り

長生寺に、長生寺に、
下り

長生寺に、長生寺に、
下り



此山寺所云修後しる後

近年并換他方不台跡、去てくまの掃か急作と
し、因るの政多き後、

清心こつららせられ、高社并高井社におきて文教
主あり、百位可人元安令富、兼の私より待言
作付

上清自清形、不危くれ、仍し海き

思ふし程の事あり、清祝言し、言名を、僅ち

東おえ、康氏邪り、ま、しめ、宗、し、清法、度、り
ちり、農、業、家、殿、者、一、入、り、け、と、却

上、下、の、ら、る、も、ふ、神、の、清、加、護、を、あ、る、さ、し、あ、ら
る、く、の、ま、し、り、て、神、清、信、乃、裁、り、附、

清祝文し字

經天保七年歲丙申、六月三日、但馬豊后守の刺

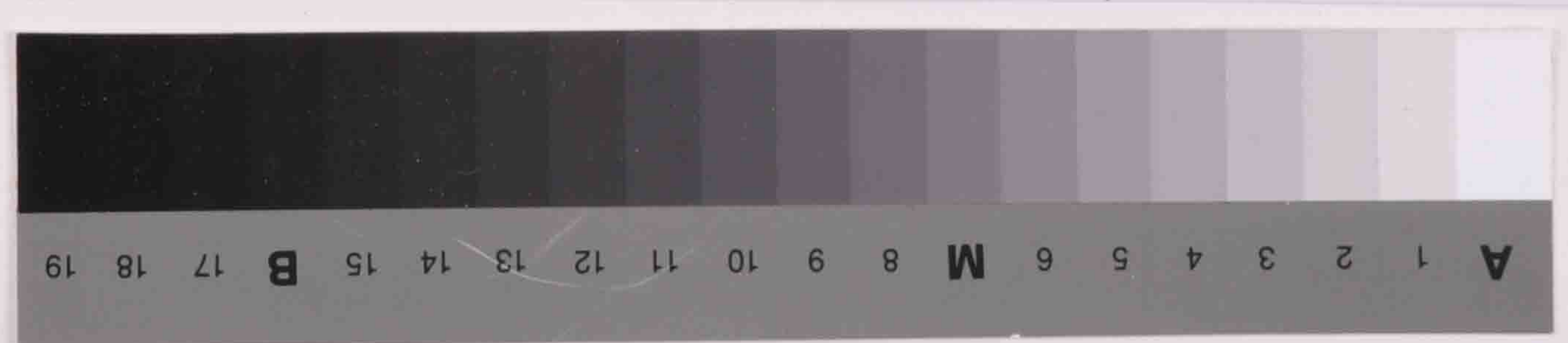
吏、從五位下、朝、散、左、大、主、極、甲、斐、文、守、源、朝、臣、高、行、經、

兼、盛、清、殿、権、劍、振、龍、蹄、一、疋、と、具、て、賜、ら、る、

皇、大、權、現、皇、大、母、神、日、祈、り、ま、ら、茶、し、く、お、も、ん、と、ら、に、こ、ら、祖、宗

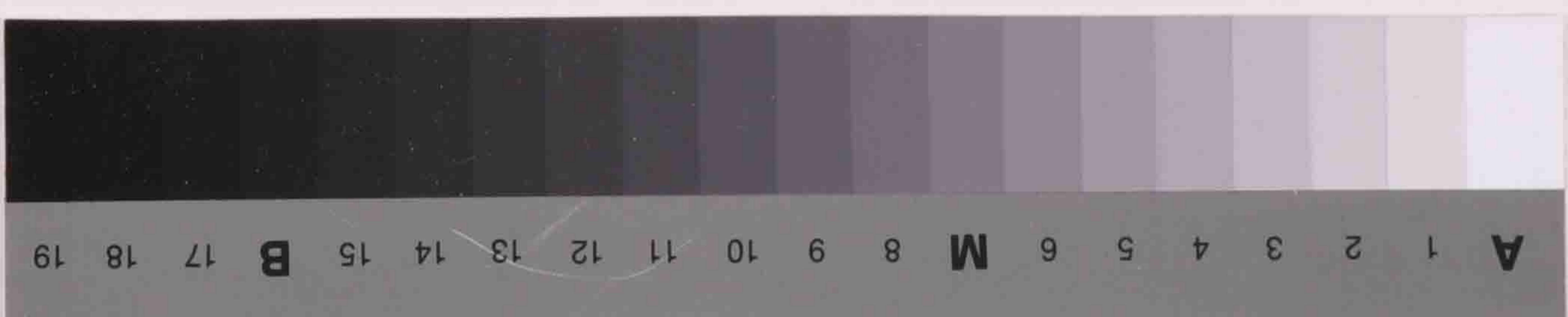
不、肖、よ、し、て、代、を、絶、民、と、名、も、ら、の、祓、と、あ、れ、と、高、行

此、年、没、し、て、百、川、の、舍、中、り、あ、る、れ、と、瑞、水、の



夏轉るの葉しと移り幸あふらとゆそ
天災力かく多んそ氏と東し先ひそ
御神の先を厚く威稜ことよおひしませ
いかもく氏東とつらくしとあふま
ふらりあるにならとつくもろと下し
あふ今ひ東らそて死するまこれあかひ
もなき高行の死のそあふん
神もつらにませあふ我らありあふるし
高行今あり移りいましめ徳を治事ハま川
知らぬの災を試てお徳を用ひ忠ん海をも

のなとあふんその擇て奉るし徳ふもの言
えとつくらもの人をとむむもの返るし氏
乃高をそすくし人まときいて由辰付を
あふす也身まあふしあふす臣の徳を我ひ
らそしあふらと返り言を用ひて只力の
かきりんもの乃ふん多中政事と命むるし
け言善いらしは高行の身まあふし衆と家
らるし仰き教く
神高行の不肖と憐れ美后の先くそと
庶民よ施し賜ひて暖風多時と失ふす



清水稀にして五数実のり成飢寒を免は
んまに高行。親に乞ふ事ありしと
おそれて中へす

四日 夏

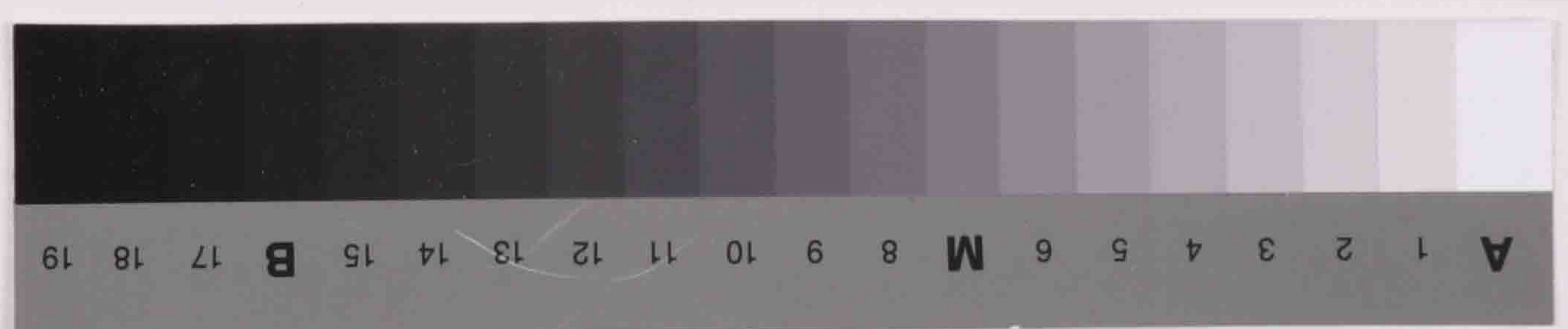
一 今朝の雨十町各の口体麻布下着のり有れり
清神経湯倍裁り足沙 五多ゆ穂多れり
三多裁分り十町各の口 行日各の口十町各
の口未判 此れ何れの上 梅老義 少年所分りゆ
尾五多の口 有れり上
一 四ノ国各の口 代系系 京都 針折を 糸以初定針
代系系 各の口 有れり上 下 定針

五日 日

一 本石系 各の口 有れり上 針折を 糸以初定針

六日 日 未三町上入

一 本石系 各の口 有れり上 針折を 糸以初定針
一 本石系 各の口 有れり上 針折を 糸以初定針
一 本石系 各の口 有れり上 針折を 糸以初定針
一 本石系 各の口 有れり上 針折を 糸以初定針
一 本石系 各の口 有れり上 針折を 糸以初定針



年之... 未之... 年之... 未之... 右之人...
年之... 未之... 年之... 未之... 右之人...
年之... 未之... 年之... 未之... 右之人...

一 錫... 永... 錫... 永... 錫... 永...

十六日 大...

一 入... 人... 入... 人... 入... 人...

十七日 日...

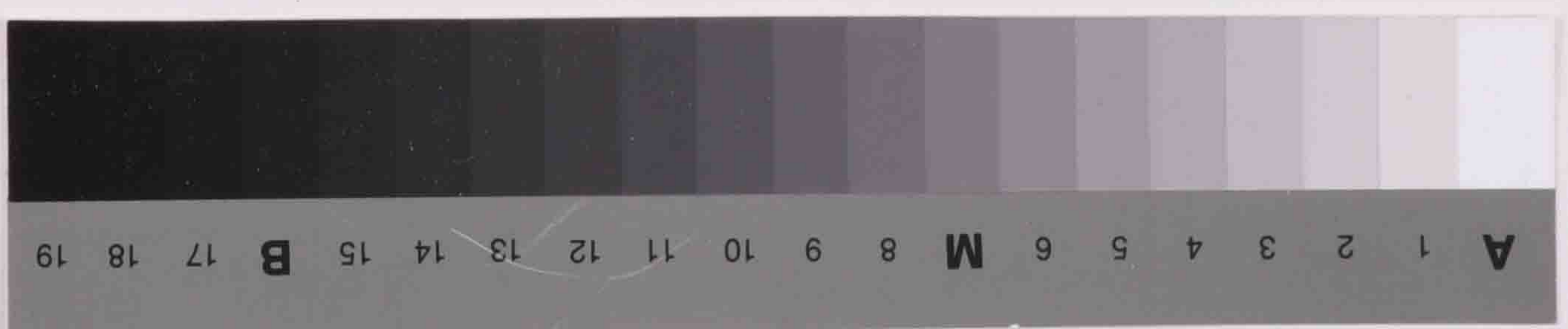
一 衣... 衣... 衣... 衣... 衣... 衣...

十八日 日...

十九日 亦... 亦... 亦... 亦...

一 酒... 酒... 酒... 酒... 酒... 酒...

拂... 拂... 拂... 拂...



新加上下村日新授矣
之丁没入中并所先
石向

廿四日 暑天
立秋七月廿

針師
船
船
船

廿六日

由利六九乃
九十九

日光寺
滞下

一
一
一
一

廿六日 終日

一
一
一
一



